

事例研究：

グローバルソフトウェア開発業者

5,000のユーザのエンドポイントで管理者特権を制御する



企業：グローバルなエンタプライズ技術機構

場所：ニュージャージー州
ホーボーケン

規模：従業員6,000人以上

製品：Endpoint Privileged Management

プラットフォーム：
Windows

会社概要

金融サービスから製造業、法執行機関、航空業界その他に至るまで、さまざまな業界の顧客に向けて、クラウドベースやオンプレミスでのソフトウェアソリューションを提供しているグローバルソフトウェア開発企業

使用事例－コンプライアンス上の義務を果たす

銀行業務部門の大口顧客のベンダー管理プログラムの一環として毎年行っているオンサイトの監査で、エンドポイント特権に関連したリスクが認められました。このリスクを軽減して全体のセキュリティ体制を向上させるため、銀行はソフトウェアサプライヤーに、5,000件近いユーザのエンドポイントで、過剰な管理者特権を制御するための手段を実装する手だてを求めました。多岐にわたる業務を行う多くのユーザに対応するため、既存のツールや手順を使って、エンドポイントで実行している全てのアプリケーションと、関連するアクセス特権の要件を識別して監査するには、数か月か、もしかすると数年かかるどころでした。しかしソフトウェアの開発者は、効果的で安全なソリューションの実装と導入には、たった3か月しか必要でないと請け負ったのです。

「もっと大規模で戦略的な当社のお客様に対しても何件か、人事や物理的保全、アクセス管理、セキュリティ研修など、異なる分野に対応するオンサイト監査を実施しました。特定された欠陥の一つは、エンドポイントでの過剰な管理者特権に関連したものでした。対処が必要なのはこの分野だったのです」

セキュリティ管理者、Richard

なぜBeyondTrustなのか

このソフトウェア開発企業は、自社にある独自ツールを使って作業することを考えましたが、最終的にBeyondTrustのEndpoint Privileged Management (EPM) 製品をインストールすると決めました。その判断の決め手は実装スピードの速さであり、またアクセス特権を制御しつつも多くのユーザ（エンドポイント）の日々の作業への変更や、影響無く、といった要件を満たすソリューションを見つける必要性があったからです。

この会社はIvanti、Thycotic、CyberArkを含む5つの大手EPM商品を評価しましたが、BeyondTrustのEPMソリューションを選んだのは提供されるQuick Startポリシーと迅速な導入機能、使いやすさと、アクセス特権を「低い、中程度、高い」という柔軟性のレベルで設定できるために、開発者が、自分の作業を行うのに必要なプログラムとアプリケーションにセキュリティポリシーに遵守しながら、柔軟にアクセスしたり使用したりできるからです。



BeyondTrustのEndpoint Privilege Managementの実装

この企業はグローバルなソフトウェア開発業者として、広範囲にわたるエンドポイントのネットワークの業務に支障をきたすことなく、迅速にインストールし、導入することができるソリューションを必要としていました。さらに、その高度な技術を持つユーザに対し、作業に必要なプログラムやアプリケーションにアクセスするのに十分な時間的余裕を持たせるのも大切なことでした。

- **迅速な導入**：導入が簡単なため、新しいハードウェアも必要なく単純に実装できます
- **柔軟性を「低い、中程度、高い」に設定**：このようなオプションが利用できるため、エンドポイントの高度なユーザの様々な要求に対応することが可能です。ワークステーションごとに個別に監査したり評価したりするのではなく、スキルの高いユーザには柔軟性の高い作業方法が選択可能になっています
- **ホワイトリスト機能**：企業はユーザとのやりとりを経ずに、選択した承認、信頼されたプログラムとアプリケーションを指定することができます。同様に、不適切であるか疑わしいソースをブラックリスト化することもできます
- **監査とレポート**：複数の利害関係者のために、完備したレポートですべてのユーザ動作についての単一の監査証跡、スピードの解析を提供し、コンプライアンスを単純化することができます



BeyondTrustで成功を

EPMソリューションを緊急で展開しなければならなかったため、この企業は計画的な段階を区切って手順を進め、初期パイロットでは英国内の開発者にシステムを実装しました。開発者の中には、はじめは管理者特権を削除するという考えを受け入れたがらないところもありましたが、BeyondTrustのEPMがスムーズに動くことがわかると、すぐに了解が得られました。さらに、試験的な導入によって潜在的な問題もいくつか発見され、企業はポリシーを調整することでこれを排除できました。このことは、彼らが全世界の他のグループに展開を続け、全体の導入を成功に導く上で大いに役立ちました。

その先へ

BeyondTrustのEPMの監査機能によりまずは、この企業のグローバルネットワークにつながっているエンドポイントでは30,000以上の異なるアプリケーションが実行されている事が判明しました。Endpoint Privilege Managementは、エンドポイントのワークステーションで定期的かつ生産的に使われている重要なプログラムの多くを特定し、承認されたソフトウェアのホワイトリスト化と、必要に応じた特権昇格を可能にしたのです。この監査手順を進める一方で、この企業はまた、より広いネットワークを脅威にさらしかねないアプリケーションを特定してただちにそれをブロックするためにブラックリストを作成することも考慮しています。

「当社は、エンドポイントの特権管理の分野でさまざまな商品を幅広く試してみましたが、BeyondTrustのEndpoint Privileged Managementは明らかに一番でした。ソフトウェア自体に関して研修の必要もなく、ユーザに与える影響を最小限に抑えながら、迅速に展開することができました。BeyondTrustのEPMソリューションはこの分野において、間違いなくすばらしい商品です」

セキュリティ管理者、Richard

BeyondTrustは、Privileged Access Management (PAM) における世界のリーダーであり、企業が特権の全分野を保護し、管理するお手伝いをしています。BeyondTrustのUniversal Privilege Managementの手法は、パスワード、エンドポイント、アクセスなど全体的な特権を保護し、組織がリスクを軽減してコンプライアンスを満たし、業務効率を向上させるのに必要な可視性と制御を実現します。